

福島県大沼郡会津高田町方言のアスペクト

秋山和義・山口幸洋

I. はじめに

(1) 調査地点：福島県大沼郡会津高田町藤田

会津若松市西方にあって、純農村地帯を主とし、町部は半農半商、特産品は高田梅。昭和30年に高田町、永井野村、朝日村、藤川村、赤沢村、尾岐村、東尾岐村が合併し、平成7年7月の人口16,198。

(2) 調査日時：'93, 8, 27 午後1時～5時

(3) 話者：秋山茂（旧高田町高田甲生育、大正9年11月3日生まれ、秋山和義祖父）

(4) 調査者・調査分担：秋山和義（自宅での聞き取り）

・山口幸洋（指示、まとめ、監修、報告書作成）

(5) 表記上の方針及び注：当方言は一型アクセントで、弁別アクセントはないとみななければいけない。したがって以下に記したピッチ記号は、アクセント的なものではなく、文レベルのイントネーション的なものであるが、一応標準的な「読み方」として示すものである。同じ文でも読む人によって異なることがありえ、2度目3度目と読めば又違うのでこれを絶対的と見る必要はない。とくにいったん書き留めたものを言い直してもらおうと又違う。しかし、一型アクセントだからナンセンスとも言い切れないし、かといって「アクセントがある」という必要もない。

音韻は典型的な東北弁の音韻が看取されるが、その表記は精密を期すべきというより、シシユス、チチュツ、ジジュズを区別する発音、単独のイ・エの発音（中舌母音）、語中無声子音の有声化がそれぞれ「あいまい」で、これが絶対と決定できないものだと見る（有声化を例としていうと、完全に有声化することが多いが、ときに無声音で発音されることもある）。表記上は、それぞれシ、チ、ジ、イ、語中子音は有声的にカナで統一することとした。

II. 調査結果

1. (昔はよくトンボ捕りに) 行ったもんだね

イッ「タツケナ[↑]、イッ「タモンダナ[↑]

2. (あの頃は) 面白かったなあ

オ「モヒガッタナ[↑]

3. (もうちょっとで) 落ちるところだった

オッ「コチトゴダナ、オッ「コチルトゴロ[↑]ダッタ

4. (ポケットから財布が) 落ちそうだよ

オ「チンゾー、オ「チソーダゾ

5. (財布を) 落として

オッ「コドシテ、ナ「グシテ

6. (その続き) 困っている

コ「マツチマツタ

7. (ろうそくが) 消えそうだよ

キ「エチマーゾ

7' (ろうそくが) 消えるよ

キ「エチマーゾ (接頭語はつかない)

8. (ろうそくの火が) 消えようとしている＝消えかかっている

キ「エソーニナンゾ, キ「エソーニナルゾ

9. (完全に、今見ている内に) 消えた キ「エタ
10. (見に行ったら、もう) 消えていたよ キ「エデンゾ, キ「エデダソ
11. (何本ものろうそくが、時間が経ったので順に) 消え始めた キ「エデグゾ
12. (その様子を見て) 消えて行くなあ ウッケーテグナー
13. (その様子を見て) 消えているよ (と、人に言う) ナ「グナッチマーゾ
14. (全部のろうそくが消えた様子を見て) 消えているよ
キ「エダガラ, マッ「クラクナツタ
15. (沢山のろうそくを、係りの人が次々と) 消しているよ
ケ「シテグソ
16. (その様子を別の人の見に行かせて、全部消したかどうかを聞く) 消しているか
ケ「シチマツタカ, ケ「シチマツタガ
17. (今にも桜が) 散りそうだ チ「リソーダ (一般に「～そうだ」という観念は薄い)
18. (ちらほら) 散り始めた チ「リハジメダ, チ「リハジメデル
19. (目の前で今) 散っている チッ「テル
20. (桜を見に行ったら、もう木には花が残っていない状態) 散っている
オ「ワッチマツタ, チッ「チマツタ
21. (地面に花びらが) 散っている チッ「テル
22. 今にも降りそうだ ア「マグモガブラサガッテル, オ「チソーダ
23. (以前の様子。あのときは今にも) 降りそうだったなあ
フ「リソーダツケナコー, フ「リソーダツタナコー
24. (以前の様子。あのときは実際にはもう) 降っていたよ フッ「テダソ
25. (あのときはやがて夜が) 明けようとしていたよ ア「ケカガッテダソ
- 25' (もう夜が) 明けようとしているよ モ「ー, ア「サゲニナツタソ
26. (来年の今ごろは) 家をたてている (最中だ)
ウ「チブシンシテル, ウ「チツグッテル
27. (来年の今ごろはすでに) 家をたてているよ (建て終わっている)
ウ「チデキアガツタ
28. (あの家はよく) 磨いてある ミ「ガイドル, キ「レーニシテアル
29. (隣の犬が) 鳴いている ホ「エデル
30. (隣の子が) 泣いている ◆同じ (ナイテルとは言わない)
31. (子供が) 喧嘩している ア「ダゲデル
32. (家に) いるかなあ 目下・同輩イッ「カナコー, 目上イッ「カヨコー
33. (〇〇さん) いるかい 目下・同輩イッ「カヨコー, 目上イ「ラツタガヨコー
34. (ああ) いるよ イ「ダガコラ, イッ「カコラ
(注) 「カラ」は本来「理由」を表す助詞。文末助詞として用いることで、余韻含みを持たせる効果があるものとして定着したものか(37も同じ)。
35. (噂話で) そういう人もいるよ ソ「ンナミデナヒトモイッカナコー

36. (あなたは今) 何をしていたか オ「メ、ナ「ニヤッテダヨ「ー
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ミッ「タガラ「ー
38. (金魚が今にも) 死にそうだ イ「マニモ、シ「ンジマーミデダ
39. (夕方帰ってみたら、その金魚は) 死んでいたよ シ「ンジマッタ
40. (本を) 読み始めていた ヨ「ミハジメデダ
41. 読み始めていたところへ (電話がかかって来た) ヨ「ンデダドゴエー
42. つくと同時に (昼飯を) 食べた ツ「グヨリハヤグマンマクッタ
43. (向こうへ) つくと同時に電話をくれ ツ「イタラスグデンワクロ
44. (電話が) 鳴り続けている ナッ「テル
45. (小学生の子供に) 先生は何をしている? セ「ンセー ナ「ニヤッテンノ
(注) イントネーション的に、「先生」からそのまま上昇する感じの言い方。
46. 好きだ ス「ギダ
47. 見られているのも知らずに寝ている ミ「ラッチルノモシラネーデネデル
48. (今、運動会が) ある＝(運動会を) やっている ヤッテル
49. 降らなくて良かったよ フ「ラネグッテ ヨガッタ
50. (病院でかかりつけの先生がこっちへ) 来つつある ム「ガッテル
51. (犬がこっちへ) 来つつある ム「ガッテル、チ「カヨッテル
52. 似ている ニ「デル、ソッ「クリダ
53. (一週間も前から遊びに) 来ている キ「テル
54. (あの子は昔から) 苦勞していない ク「ナシダ、ク「ナシクニンボーダ
(注) クナシは「苦無し」、クニンボーはそれを強調的に言うもの。
55. (今はあまり) 苦勞しないている＝苦勞していない＝5 5
/ (クローシテネーとは言わない)
56. 酒は売って (は) いるが、タバコは売って (は) いない
サ「ゲワアッケンジョモ、タ「バコワネーガラ
57. (昔からタバコを) 売っている ウッ「テッカラ
58. (今、夜店で) 売っている ミ「セヒライテル、ア「ギネーヤッテル
59. (もう三回) 来ている キ「テンゾ
60. (いつも) 来ている (ネ「ンガラ) キテッカ「ラ
(注) 直訳的には「来ているから」であるが、これで「来ているよ」となる。
61. (昔はいつも) 来ていた キ「デダ、キ「デダック
62. (前に一度) 行っている イッ「テル、イッ「タゴドアル
63. さきに行っておいてくれ サ「ギニイッテデクロ、
サ「ギニイッテデクンツェナ、サ「ギニイッテデクナンツェナ
64. 待っていないさい マッ「テロ
65. (外に) 待たせてあるよ マ「タヒデル
66. (先に) 食べておいてくれ サ「ギニクッテデクロ、
サ「ギニクッテデクンツェナ、サ「ギニクッテデクナンツェナ

67. (昔と) 違っている チ「ガッテル, チ「ガッテンナ
68. (昔は今のと) 違っていた チ「ガッテダ
69. (毎日梅干しを) 食べている クッ「テル
70. (体操を毎朝) している ヤッ「テル
71. 気をつけていて (怪我をした) キ「ーツケデイタケンジョ
72. 行ったまま (帰ってこない) イッ「タキリ, イッ「タマンマ
73. 話をしながら (走っている) シャ「ベリナガラ, シャ「ベリシャベリ
74. (役場へ) 行く途中, (郵便局に) 寄る イ「グツイデニ ヨッテグ
75. (役場へ) 行く途中, (偶然知り合いに) 会った イ「グトチュー デアツタ
76. (本を) 読むのを (途中で) やめて (表へ) 出た ヨ「ムノー ヤメデデタ
77. (その本は) 読んだばかりだ
ヨ「ンダバッカダ, ヨ「ンダバッカリダ, ヨ「ンダドゴダ
78. (読もうとしたら, 眼鏡が) なくなっている ミ「アダンネー
79. (早く食べないと) なくなるぞ ナ「グナンゾ
80. (ここに) 掛けておいた帽子がない カ「ゲトイタポーシガ ネーゾ
81. (この本棚に) 並んだ本 ナ「ランダホン
82. (この机に) 並べた本 ナ「ラベダホン
83. (今の内にこの仕事を) やっておこうか ヤッ「チマーベ, ヤッ「トグベー (少)
84. (もう掃除は) やってあるか ヤッ「チマッタノ「ガ, オ「ワッタノ「ガ
85. (孫がおもちゃを) 壊している ブッ「コワシテル
86. (おもちゃがもう) 壊れている ブッ「コワツチャ
87. (おもちゃがもう) 壊されている ブッ「コワツチル
88. (割れたガラスは危ないから) 退けてある カ「タツケデアル
89. (お礼状は) 書き終わった カ「ギアゲダ
90. (早く) 書いてしまいなさい
シ「マツツケッセ「ヨ, カ「ギアゲロ「ヨ, カ「イッチマエ
91. (間違った字を) 書いてしまう カ「イチマー
92. (ちょっと難しい字を) 書いてみた カ「イデミダ
93. (おじいさんは) 入院している ニュ「ーインシテル
94. (東京にいる, おじいさんの弟もどこかへ) 入院しているようだ
ニュ「ーインシテルツテヨ
95. (きっと) 良くなるよ ヨ「グナンベ「ー
96. (だんだん) 良くなるよ イ「ーホーニムイテル
97. 年をとると (歯が悪くなる) =年をとってくと～ ト「シトット
- 97' 年をとったから～ ト「シトッタガラ
98. (歯は) 直らなくなる =直らなくなっていく =直らなくなってくる
ナ「オンナグナル, ナ「オンナグナツテクル,
ナ「オンネグナル, ナ「オンネグナツテクル

- 99-1. (犬が) 怪我したので (病院へつれていく) ケ「ガシタガラ
 -2. (子供が) 怪我したので～ ◆同じ
 -3. (お父さんが) 怪我したので～ ◆同じ
 -4. 雨が降ってきたのでやめておく。 ア「メフツテキタガラ ヤメンバー

- 100-1. 「雨が降りつつある」は、
 a 「降りそうなこと」か、
 b 「今ぼつぼつ降り始めたこと」か、
 c 「すでに盛んに降っていること」か …… b
 -2. 「貯金が増えつつある」は、
 a 「これから少しずつ増えようとしていること」か、
 b 「すでにある程度ふえていること」か …… a
 -3. 「貯金を増やしつつある」は、
 a 「増やそうと思っていること」か、
 b 「それがだんだん実現していること」か、
 c 「すでにかなり増えていること」か …… a

Ⅲ. まとめ

東北方言については全般的に山口として把握できて無く、勝手が違うという感が否めない。未だ不完全ながら「無いより良いもの」としてとりあえず提出するものである。参考になるところがあれば幸いである。

(あきやま かずよし 静岡大学人文学部4年生)

(やまぐち こうよう 静岡大学人文学部講師)